

景観づくりの基本理念

景観づくりの意義やその必要性を認識するだけでなく、行政による先導的な取り組みや市民、事業者との協働による取り組み、計画的、持続的な取り組みなどによって積極的に景観づくりを推進していくために基本理念を以下のように設定しています。

■景観づくりの基本理念

「こおりやまの景観をつくり、そだて、まもる」

～みんなで考える郡山の景観づくり～

「つくる」

新たに魅力ある景観構成要素を創出していくこと。また、ももっていく景観構成要素をネットワーク化*し、その価値を高めていくための景観づくりにも積極的に取り組み、そして、これらの景観を魅せること、みんなで楽しむこと。

「そだてる」

市民、事業者、行政の協働による景観づくりを推進するために、郡山市景観づくり基本計画の趣旨と内容を広く周知し、合意形成を図るとともに、自主的な活動への意識啓発や市民活動などを育成し、支援していくこと。また、みんなが自主的に景観を愛し、景観づくりに参加する意識をもつこと。

「まもる」

郡山市の景観を特徴づけている自然景観や歴史・文化的景観といった景観構成要素を保全し、将来に受け継いでいくとともに郡山市のまちのイメージをつくり、高めていくために、これらを生かしながら後世に伝えていくこと。

※「ネットワーク化」

ここでは、景観構成要素間をつないでいる道路なども景観づくりを行い、良好な景観を連続させることとします。



なかまち夢通り



三代集落の町並み

景観づくりのテーマ

郡山市の景観特性を自然景観、生活景観、歴史・文化的景観に分けて整理すると、自然景観では「地形」、「水系」、「みどり」、生活景観では「住宅地」、「産業地」、「観光・レクリエーション」、「交通」、歴史・文化的景観では「歴史・文化的施設」や「伝統行事」などの郡山市の景観を特徴づけている主要な構成要素があります。

これらの景観の構成要素を再検証すると、郡山市の特徴的な景観構成要素には「水と緑」、「まち」、「歴史と文化」があげられ、郡山市は、「水と緑」の豊かさ、歴史的、文化的な遺産として残存しているだけでなく、それらの「水と緑」に意味を付与している「歴史と文化」、そしてこれらの「水と緑」の豊かさや「歴史と文化」を基盤としたこれまでの郡山市の「まち」としての発展と活力、あるいは将来的な発展性と活力の萌芽といった3つの側面の構成要素で説明されます。

郡山市内の各地域におけるこれらの景観構成要素の特性を生かし、それをつないで郡山市全体としてまとまりのある景観づくりの推進を図っていくためのテーマを以下のように定めています。

■景観づくりのテーマ

「水と緑の物語 ロマンあふれる景観づくり」

これは、個別の空間的な質を高めていくだけでなく、郡山市の景観を特徴づけている「水と緑」、「歴史や文化」の形成及び「まち」の発展において果たす役割などが物語として視覚的に認識することができ、また、視点が移動していくことによって、その物語のイメージを膨らませることができるロマンあふれる景観づくりを進めていくことを意味します。



彫刻と水景施設(フロンティア通り)



せせらぎ(せせらぎこみち)